



令和7年度 とくしま集落再生表彰

一般社団法人 神山つなぐ公社

地域で学び、地域と育つ まちを将来世代につなぐ、循環の仕組み

神山町の創生戦略「まちを将来世代につなぐプロジェクト」をスピード感と柔軟性をもって実現してゆくために平成28年に設立された。「将来世代が可能性を感じられるまち」の実現を目指し、行政と民間の間をつなぐコーディネーターとして、単なる人口対策にとどまらず、そこに暮らす人々が豊かさを感じられる環境づくりに取り組んでいる。

活動の大きな柱のひとつは、教育と地域づくりを一体化させた「高校プロジェクト」。廃校が危ぶまれていた城西高校神山校の魅力を向上させるため、公社職員が高校と地域をつなぐコーディネーターとなり、まちの様々な人たちと出会い、社会の現状や課題について学びを深める独自授業「神山創造学」を展開。また、高校生が造園技術で高齢者を支える「孫の手プロジェクト」や、耕作放棄地を再生する「まめのくぼプロジェクト」を通じ、生徒と住民が協働する循環を生み出している。さらに、全国から生徒が集う神山校の寮「あゆハウス」の運営を担い、生徒とまちの大人が関わり合いながら生活をつくる特色ある寮は、学校と地域の交流を生み出している。産官学が連携して自律的な地域社会を築く仕組みは、新しい地方創生のモデルとして高く評価されている。

一般社団法人 神山つなぐ公社

- 住所／徳島県名西郡神山町神領字北164
- 代表者／馬場 達郎
- 連絡先／088-603-8184



(写真上)耕作放棄地であった「まめのくぼ」を高校生が整備。現在は実習地として、在来種の「神山小麦」をはじめ、もち米やサツマイモを栽培。

(写真下)県外生が県立城西高校神山校に通うための寮「あゆハウス」では、寮生とハウスマスターが日々話し合いながら暮らしをつくっており、全国から視察が来るような特徴ある場となっている。